

令和5年度 議会報告会
意見交換概要
第1部テーマ「災害から地域を守る」

令和5年11月7日(火) 開催

項目	要 旨
避難所	避難所の防災倉庫内に設置されている設備が貧弱。設置されているパーテーションは、一避難所当たり10基だけである。災害時には、県や市で保管してあるものを運搬することだが、運搬手段が確保できるかは分からない。現在の10倍程度は準備してほしい
	水や食べ物は1日程度我慢できるが、トイレは我慢できない。各避難所に準備されている簡易式組み立てトイレでは、災害時には使いづらい
	避難所である体育館には自家発電設備が整備されていない
	校舎内に空き教室がある場合には、体調が悪い人を隔離する部屋として使用できるように配慮してほしい
	議員自身が避難する避難所を視察し、現状を知ってほしい
避難所運営委員会 自主防災組織	各自治会がお金を出し合い、避難所運営委員会で必要だと思う物品を購入しようと思ったが、自治会の予算では購入すべきでないとの意見があった。補助制度は自主防災組織に対してはあるが、避難所運営委員会に対してはない。避難所運営委員会で必要だと思うものを買うように予算をつけてほしい
	なぜ、災害時に避難所で必要なものを自主防災組織で購入しなければならないのか。市が予算を取り、避難所の備品として整備すべきではないのか
	避難所運営委員会のなり手が地区にはいない。自治会役員のなり手もないのが現状
	避難所運営委員会が設立されている避難所が少ないので、働きかけるべきでは
	コロナ禍前は、みんなが避難所に避難して、地域住民みんなで避難所を開設する運用であったが、コロナ禍後は、在宅避難ができない人が避難所へ避難する運用となった。避難する人は高齢者が想定されるが、高齢者だけでは避難所運営を行うことはできない
	自治会と自主防災組織が同じであると毎年メンバーが交代するので、有事の際、スムーズな避難所開設ができない。避難所運営がスムーズにできるよう、各自治会の役割を固定化し、各自治会内で引継ぎができるようにしてはどうか
	自治会に属していない人は回覧板が回らないので、避難所運営委員会からのお知らせは、紙で届けるしかない。今までは自治会で紙を用意すれば、公民館の印刷機を使用することができたが、公民館のコピー機が有料化されたため費用負担が難しい。コピー代は市で負担してほしい

令和5年度 議会報告会
意見交換概要
第1部テーマ「災害から地域を守る」

令和5年11月7日(火) 開催

項目	要 旨
地域コミュニティ	自治会の加入率は、昔は100パーセント近くであったが、高齢者が増加したことにより、自治会活動に参加することができず退会してしまう。コミュニティ崩壊を何とかしなければ、防災も上手くいかない
	自主防災会の加入者が高齢化している中、70歳代、80歳代の人達では、消火や救出などの活動はできない。一番の問題は高齢化である
	地域の絆が大事だと思う。親睦を深めるため、納涼祭や忘年会、餅つき大会やバーベキュー大会などを企画している。何をやるのにもみんなのやる気がなければ意味がない
	自助と共助の間には近所がある。醤油、砂糖の貸し借りではないが、気軽に声を掛け合える関係が日頃からできていれば、災害時の安否確認はスムーズに進むと思う
防災啓発	各家庭で防災グッズを準備するのは大事。ホームセンターでも販売されているので、各家庭で準備できるように市で補助金を交付するなど、意識付けをしてはどうか
	ハザードマップは市内の情報しか掲載されていない。市民が行きそうな他市町の隣接する地区の状況も掲載されていた方が参考になるのではないのか
	災害の疑似体験ができる防災館に行き、防災意識を高める取組が必要ではないのか
学校	災害時、国道51号がとても混雑するが、二次災害等が心配である。学校は早めに休校にし、無駄な動きをなくするのが重要ではないのか
消防団	消防団に新たに加入する人が全然いない。OB等のネットワークを有効利用すべきではないのか
ライフライン	災害時にメガソーラー発電所で発電された電気を電気自動車で充電し、電気自動車が各避難所へ行くことで水が使えるようになり、トイレやシャワー等が使用できるようになるので、体制づくりを構築してはどうか
応急処置	災害時に誰でも救命処置が行えるよう、小学生の時から授業に組み込んでどうか。国際医療福祉大学が開学したので、取り組みやすい環境にあると思う。人命が本当に大事という意識の人が増えれば、各種計画や事業等の考え方が変わってくると思う